

ROTARY CLUB OF NODA

野田ロータリークラブ週報

第3026回例会 (4月2日)

第3019号 2022.4.11 発行

■創立:昭和31年5月 ■例会日:毎週月曜日 PM12:30~13:30

例会場 事務局 野田商工会館内5F(櫛のホール)
〒278-0035 野田市中野台168-1 TEL04(7125)0061 FAX04(7125)0055



会 長：岡 安 誠 人
会長エレクト：浅 野 泰 泉
副 会 長：三 浦 直 哉
幹 事：中 村 政 道
副 幹 事：森 下 芳 夫
■発行責任者：梶 原 宏 氏

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
SERVE TO CHANGE LIVES

地区：「Love Other Spirit 繋ごう次世代へ夢ある未来へ向けて」 野田：「ロータリーを繋いでいこう」
2021-2022年度 ロータリーのテーマ

2021-2022年度
国際ロータリー第2790地区 第14グループ

会員基盤向上セミナー
並びに合同例会



2021-2022年度 国際ロータリーのテーマ
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

野田ロータリークラブ
野田東ロータリークラブ
流山中央ロータリークラブ
野田セントラルロータリークラブ
流山ロータリークラブ(ホストクラブ)

2022年4月2日(土) 13:30~18:00
柏 日本閣



2021-22 年度第 14 グループ 会員基盤向上セミナーに向けて

国際ロータリー第 2790 地区

2021-22 年度ガバナー 梶原 等

(千葉 CRC)

今年度のインターシティーミーティングについて年度スタート前からガバナー補佐の方々にはお願いをしておりました会員基盤向上セミナーが盛大に開催されます事心よりお慶び申し上げます。

2021-22年度 第14グループの平井賢俊ガバナー補佐は趣旨を十分に理解され宮崎忠敬ガバナー補佐幹事協力の下、テーマ:「Rotary's Up date」～会員基盤向上と新たな奉仕活動に向けて～を開催して頂くことになりました。

この目的は、私達ロータリーが地域で輝き今よりもっと元気に活動できる様に、そして地域から愛されるロータリークラブであり続けて頂きたいという願いから発案させて頂きました。内容は各クラブから寄せられた会員増強の成功事例やインパクトのある奉仕プロジェクトの事例などを持ち寄って更には他のグループや他の地区の事例など知ることにより各クラブの会員基盤と奉仕プロジェクトをアップデートして頂きたいという願いからでした。そして今回は講師に寺嶋哲生パストガバナーを迎えられ「Rotary's Up date」～会員基盤向上と新たな奉仕活動に向けて～のテーマで基調講演を頂きながらグループ内クラブ間の交流を図って頂きます。

実はこのセミナーの発案にはもう一つ理由があります。

それは、千葉県全域をテリトリーとする第2790地区の活性化を願ってという事もあります。

と申しますのは1A、2、3ゾーンの日本には2,223のクラブが存在し、34の地区に分かれております。ロータリーの友の区域図などで見て頂ければわかりますが、地区が数県またがっている地区もあれば一つの都県に2つの地区が存在する等様々です。その中で2760地区(愛知県全域)や2680地区(兵庫県全域)などはテリトリーである地区の活動が非常に活発で尚且つ会員数の維持拡大やローターアクトクラブ・インターアクトクラブ等の活動も盛んであるという事です。

それらの地区は地区主催の大型プロジェクトを開催し地区全体が輝いているという事です。具体的には大規模な“フードフェスタ”などを企画運営し市民の方々他の団体などと連携を図りながらその地域の活性化に寄与され地域もロータリーも共に成長されている事があるという事を知ったからです。

これはガバナーやガバナーエレクト、アシスタントガバナー等各地区のシニアリーダーなどが出席する1A、2、3ゾーンの地域セミナーで紹介されていた事で知ったのです。

要するに多くのクラブやグループ、或いは地区の情報を集めることにより私達各クラブの活性化に繋がってくるという事が考えられるからです。

従って今回のセミナーでは、他のクラブの方々との交流を図りいつも以上の情報交換をされますようお願い申し上げます。

結びに本セミナーを通じて今年度RIテーマ“Serve To Change Lives 奉仕しようみんなの人生を豊かにするために”を再確認頂き第14グループの各クラブの皆さんが今まで以上に第2790地区のロータリーを牽引して頂けますようお願い申し上げます。ガバナーとしてのメッセージとさせて頂きます。

プログラム

2022年4月2日(土)

於 柏 日本閣

【参加クラブ】 野田ロータリークラブ 野田東ロータリークラブ 流山中央ロータリークラブ
野田セントラルロータリークラブ 流山ロータリークラブ(ホストクラブ)

13:30	登録開始	受付	各クラブ担当者	
		司会	ガバナー補佐幹事	宮崎 忠敬
14:00	点鐘		ガバナー補佐	平井 賢俊
	国歌斉唱・ロータリーソング(奉仕の理想)			
14:03	ご来賓並びにリーダー紹介		ガバナー補佐	平井 賢俊
14:05	参加クラブ紹介		ガバナー補佐幹事	宮崎 忠敬
	物故会員への黙禱		ガバナー補佐幹事	宮崎 忠敬
	主催者挨拶		ガバナー補佐	平井 賢俊
	歓迎の挨拶		ホストクラブ会長	伊藤 賢一
14:15	来賓挨拶		流山市長	井崎 義治
14:20	リーダー挨拶及び基調講演		パストガバナー	寺嶋 哲生
	点鐘		ガバナー補佐	平井 賢俊
14:50	休憩10分			
15:00	会員基盤向上セミナー	進行	ガバナー補佐	平井 賢俊
	テーマ「Rotary's Up date」～会員基盤向上と新たな奉仕活動に向けて～			
	5クラブ会長エレクト発表 (各クラブ5分程度)			
	野田ロータリークラブ		会長エレクト	浅野 泰泉
	野田東ロータリークラブ		会長エレクト	沼野 秀樹
	流山中央ロータリークラブ		会長エレクト	渡会 顕
	野田セントラルロータリークラブ		会長エレクト	高山 聡宏
	流山ロータリークラブ		会長エレクト	石川 智也
15:45	総評		パストガバナー	寺嶋 哲生
16:00	伊藤義雄直前ガバナー補佐への記念品贈呈		ガバナー補佐	宮崎 忠敬
	リーダーに記念品贈呈		ガバナー補佐	平井 賢俊
	次期ガバナー補佐・次期ホストクラブ紹介		ガバナー補佐	平井 賢俊
	次期ガバナー補佐挨拶		次期ガバナー補佐	林 剛史
	次期ホストクラブ会長挨拶		野田東ロータリークラブ会長	林 剛史
	閉会の辞		ホストクラブ会長エレクト	石川 智也
16:40	懇親会		ホストクラブ親睦委員長	志見 壮一
	ガバナー補佐挨拶		ガバナー補佐	平井 賢俊
	乾杯		ホストクラブ会長	伊藤 賢一
	歓談			
18:00	閉会の辞		ホストクラブ直前会長	井上 尊王



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



ガバナー補佐 平井賢俊



流山市長 井崎義治



パストガバナー 寺嶋哲生



会長エレクト 浅野泰泉



伊藤義雄直前ガバナー補佐への記念品贈呈



伊藤義雄直前ガバナー補佐



リーダー挨拶及び基調講演

国際ロータリー 2970 地区 パストガバナー

寺嶋 哲生様

(基調講演より)

ロータリーの歴史 流れ

何故ロータリーを創ったのか?

「寂しかったのです。寂しさを紛らわすために創った」

(ポールハリス 1935年来日時発言)

三綱領 (1906~1907)

- ・互惠取引
- ・親睦
- ・社会奉仕

ロータリー倫理訓の採択 (1915)

職業倫理概念の確立

五大奉仕

- | | | |
|-------|------------|-----------|
| クラブ奉仕 | 会員 | 家族 |
| 職業奉仕 | 顧客 | 取引先 社員 株主 |
| 社会奉仕 | 地域社会とその構成員 | |
| 国際奉仕 | 国際社会とその構成員 | |
| 青少年奉仕 | 青少年 | |

決議 23-34

社会奉仕に関する 1923年の声明

ロータリーの危機と変革 (RIの方向)

単年度主義 ⇒ 継続性 (戦略計画)

陰徳の美 ⇒ 陽徳

I serve ⇒ Take action

「不易」と「流行」

かえてはいけないもの → 目的

かえなくてはいけないもの → 方法

本質は変わらないが方法は時流により変える



会員基盤向上と新たな奉仕活動に向けて

野田ロータリークラブ 会長エレクト 浅野 泰泉

・会員増強の取り組み

会員からのアンケート形式の情報をもとに委員会が検討しアプローチする。今後も継続。

・新しい奉仕事業

既存の福祉団体といかに支援し、ロータリー運動につなげていく事が大切。

・コロナ禍における例会

GoogleMeetを使ってオンライン例会を実施。

ロータリー学友古賀怜衣さんが英国よりオンラインでスピーチ。

職業分類は水道工事です。水道の水源は川であり井戸です。井戸という地下水が泉となって滾々と湧き出る。その水源が水道となり、まちを巡っていきます。『イマジンロータリー』は、人それぞれの心の想い、それぞれの心に泉があることだと私は思います。泉が湧くことが私にとってのロータリーの始まりです。私共の野田ロータリークラブは会員増強に取り組んでいます。

会員からアンケート形式の会員情報を頂き、その情報をもとに委員会が検討しアプローチしていきます。今野田ロータリークラブは56名の会員となっています。今年度の新入会員は1名ですが、今後もアプローチを続けていきます。メンバーの年齢構成は41歳から84歳までです。

新しい奉仕事業としましては、私の考えは今たくさんできている福祉の団体をいかに支援してロータリー運動につなげていくかという事が大切だと思っています。それと私共の基盤を作る為に今、例会がなかなか開催されないところではありますがZoomではなくGoogle Meetを使ってのオンライン例会の練習例会を現在2回程行いました。Google Meetを使ったのは例会場のある野田商工会議所がGoogle Meetを採用しているからです。

そんな中でロータリー財団のロータリー学友と繋がるセミナーが9月にありました。そこで私ども野田クラブがお世話をしている、今留学している古賀怜衣(こがれい)さんがイギリスに留学中ですが、イギリスからそのセミナーにオンラインでスピーチをさせていただきました。時勢を感じます。今私どもの支援として米山記念奨学会 袁悦(えんえつ)さんという女性がちょうど3月で卒業され旅立っていきました。また現在のロータリー財団の学友は古賀怜衣さんではありませんが、この度新年度の4月から米山奨学会でマレーシアのタン フィブンさんという方をお世話することになりました。3人とも女性です。日本から女性が世界に行き、また女性が世界から日本にやってくる。やはりこうなってくると女性メンバーが多く必要です。今野田ロータリークラブの女性メンバーは4名に減ってしまったのですが残念です。やはり女性比率を10%~15%へと増やしていきたいと思っています。今、岡安会長のもと様々な団体を支援するためにどこに寄付をするか、寄付をするだけでなくどのようなサポートができるかを考えていきます。その目標を次年度へと繋げていきます。様々な団体との関係が大きなロータリー回転に繋がり、地域社会への奉仕ができると考えています。よろしくお願い致します。

以上で発表を終わります。ありがとうございました。